



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

2018年



インスピレーションになるう

BE THE
R.I 会長 バリー・ラシ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。
パストガバナー 前原勝樹

会長 松島宏明 幹事 木村洋一

クラブ会報・情報委員会 飯塚荘一・大島千賀子・飯山順一郎

10月15日号

第3084回例会

(9月29日(土) - 例会変更 -)

— 桐生市市民文化会館 スカイホールA —

未来の夢計画 講演会
地域再生を考えて！教育をテーマに！！
『子育てを楽しもう！心でつながる親子』
講師 ジャーナリスト 石川結貴様



会長の時間



本日ロータリー財団事業としまして企画しました、教育講演会が実施されます。

“地域再生にむけて教育をテーマに” というタイトルとさせていただきます。

私自身地域再生の最重要ファクターが教育であると考えていて、今回石川結貴さんをお招きしての講演会を実施いたします。

もう一つのテーマとして、大きく変わり続ける教育環境に関して我々ロータリアンが目をつけるということがあります。桐生ロータリークラブのメンバーが市内小中高校を訪問し、講演会のアピールを行うとともに、是非学校の現状のお話を伺ってみたいと考えました。まずは我々が行動し考えることからスタートしてまいります。

サザエさんとポケモンの家族・地域像
アニメ「サザエさん」と「ポケットモンスター」
に描かれる家族と地域の変化。

子育て環境の変化～地域
公園に「禁止看板」が立てられたり、子どもの声を「騒音」と捉えるような空気が広がっている。子どもは地域の人と気軽に交流できず、親も子育てへの冷たい視線を感じてしまう。

子育て環境の変化～家庭
育児関連のアプリが普及し、子どもの遊びや教育、しつけなどに多用されている。便利さの一方で、特に乳幼児の心身の発育への影響も懸念される。

子どものネット・スマホ利用

インターネットやスマホ利用の低年齢化が進んでいる。学校の宿題をすべてネットからのコピー（コピー&ペースト）で済ませる小学生がいるなど、家庭や学校での教育にあらたな問題が生まれている。

「五感」と「愛着関係」

子どもはおとなの表情や声、ぬくもりなどから多くの情報を得ている。そこから信頼関係や愛着関係が生まれ、人としての基礎、社会性などを育むが、最近ではこうした感覚的なつながりが希薄化している。

子育てを楽しむための「3つのC」

「私は～」という「Iメッセージ」で交流したり、今までとは違う視点、発想を持ってみよう。子どもの成長に焦りや不安を感じても、思考や認知を変えると別の方法が見つかりやすい。

子育てを楽しもう～心でつながる親子

日常の中にある喜びや幸せを見出すことで、子育ては楽しくなる。挨拶を交わしたり、自分の気持ちを表現したり、少しの工夫を積み重ねて子どもと心でつながっていこう。

「Do」＋「Be」で支える

「何かやる」、たとえばテストで高得点を取ることによって子どもをほめるという親は多い。そうした評

価はあっていいが、一方では「ありのまま」の子どもを認めることも忘れないようにしたい。

自尊心と自己肯定感を育てる

自信を失い、傷つきやすくなっている子どもたち。自己肯定感を育てるためには、「自分には価値がある」と気づく体験が必要。おとなは子どもの失敗を見守り、みずからの人生経験を語ることが大切だ。

川崎市「子ども夢パーク」の実践

ドロンコ遊びや焚火、水まきなど、子どもが自由に遊べるプレイパークが増えている。スマホやネットがなくても、子どもは存分に楽しめるし、幸せそうな子どもを見れば親もうれしい。

地域で支える子育て

少子高齢化や地域の空洞化、厳しい現実の中で、子どもにどんな「未来」を与えるか？
親や学校だけでなく、地域が一丸となって子どもを支え、見守っていこう。

子どもの力を引き出すおとなの力

子どもに自信と自己肯定感、真の生きる力を与えるために、おとなにはできることがある。



市内小中高校を訪問

学校の現状のお話を伺い講演会の案内をしてもらいました。

